

# 私学いばらき

発行 茨城県私立中学高等学校  
保護者会連合会  
(茨城県私学協会内)

〒310-0911 水戸市見和 1-356-2  
茨城県水戸生涯学習センター分館内  
TEL 029-226-1224・FAX 029-226-1273

ホームページアドレス  
<http://www.ibaraki-shigaku.jp>

## 県私保連の活動が 豊かに実っていくことを願いつつ



平成30年度  
茨城県私立中学高等学校保護者会連合会  
会長 前田 寿紀

こんにちは。皆様には、平素、県私保連の活動にご理解・ご協力賜りまして誠に有難うございます。平成30年6月の総会で前会長村田雅彦様より会長職を受け継ぎ、県私保連が1年間充実した活動を行うことができましたこと、皆様の御蔭と心より感謝申し上げます。

県私保連は、保護者の立場から、茨城県私学協会等の私立学校関係団体と連携・協力しつつ、生徒の教育環境づくりや健全育成に努めております。

平成30年度の主な活動につきまして、ご報告も兼ねて皆様と成果を共有できればと考えております。7月の日私学保連総会・研修会では、自由民主党総裁・安倍晋三氏の祝文披露後、鳥取で「すなば珈琲」を設立された村上和良氏のご講演で、同店成長の感謝として災害地や学校等へ食事の無料提供をされている村上氏の私的活動の心意気に感銘を受けました。また、鳥取城北高等学校生徒の合唱、鳥取城北高等学校生徒の手話パフォーマンスでは、生徒さんのひた向きの努力に未来を感じました。8月の関東地区私学保連代表者会及び研修会では、平成29年「全国高校サッカー選手権大会」で全国優勝に導か

れた前橋育英高等学校校長・サッカー部監督の山田耕介氏のご講演で、スポーツ部生徒を育成する秘訣としての“挫折し弱さと向き合うことが自分を人として成長させる”“生徒の本気は必要、指導者の本気はもっと必要”等の名言にふれました。10月下旬から11月中旬にかけて、県議会議長、県知事等への請願・陳情を行いました。11月の県私保連研修会では、個人18名、団体3団体への表彰を行いました。生徒さんの県内、他県での善行活動に多大な拍手が起きました。また、茨城県保健福祉部長の木庭愛氏のご講演では、グローバルな世界での子育て奮闘記を傾聴し、ご出席の皆様と子育ての大変さ・大切さを共有しました。11月の日私学保連全国会長会後の私学振興全国大会では、私学振興の「決議採択」を行い、後に県選出国会議員への陳情を行いました。12月の日私学保連青少年育成研修会では、四国こどもとおとなの医療センター・児童精神科医長の中土井芳弘氏のご講演で、「教室で気になる子ども」には、寄り添い伴走者となる人が必要で、家族・本人が同じ方向を向くことが重要とのご教示をいただきました。また、尽誠学園高等学校・尽誠太鼓部の太鼓披露では、生徒さんの日頃の練習成果と人々を感動させる力に圧倒されました。

こうした県私保連の活動と成果によって、茨城県内はもとより、関東、日本と、私立学校の教育環境がますますよくなり、県内私立学校の生徒さんが、豊かに育ち将来ご活躍されることを切に願っています。今後も、県私保連の活動に変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 県私保連について

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会（略称「県私保連」）は、県私保連の前身となる茨城県私学父母の会が、昭和57年、全国私学父母の会（現在の「日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会」）と協調し、父母自身の問題を父母の立場で解決する場を求めて発足しました。平成19年には、現在の名称に変更し、発足から一貫して、茨城県私学協会・県私保連・茨城県高等学校PTA連合会私学部会（略称「私学部会」）の私学三団体が連携・協調して私立高等学校等經常

費助成に関する請願・陳情の活動をしてまいりました。

平成22年5月、全国組織をはじめとする関係団体との連携を強化するために、県私保連は私学部会と統合して、現在の県私保連を設立しました。

県私保連は「私立学校助成の拡充及び保護者の教育費負担の軽減に向けての運動推進」を主要な事業に掲げ、主に私学助成に対する充実強化のため毎年活動を進めております。

### 平成30年度役員

- 会長……前田 寿紀  
(江戸川学園取手中・高等学校後援会会長)
- 副会長……櫛田 武伯  
(明秀学園日立高等学校PTA会長)
- 副会長……竹澤 賢司  
(江戸川学園取手中・高等学校校長)
- 理事……戸澤 清子  
(清真学園高等学校・中学校PTA会長)

- 理事……大串 久  
(つくば秀英高等学校PTA会長)
- 監事……村田 雅彦  
(茨城キリスト教学園高等学校後援会会長)
- 監事……ランドルW.ヴォス  
(茨城キリスト教学園中学校高等学校校長)

# 30年度 活動報告

## 会議等

- (1) 茨城県私立中学高等学校保護者会連合会総会・教育懇談会（6月15日 会場：ホテルレイクビュー水戸 出席者数：90名）

総会に先立ち、県総務部総務課私学振興室より「本県の私学助成について」の説明をいただきました。続いて総会議事に入り、平成29年度事業報告および収支決算報告、平成30年度役員を選任、平成30年度事業計画および収支予算案などの提出議案について審議の後承認されました。また、保護者会活動において尽力された方々に対する平成30年度県私保連功労者表彰では特別功労者4名、功労者18名の方々に感謝状が授与されました。総会終了後には教育懇談会が開催され、各校の保護者会の情報を交換するなどして親交を深め有意義な時を過ごすことができました。

- (2) 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会総会・研修会（7月19日・20日 会場：ホテルニューオータニ鳥取 本県出席者：5名）

「今こそ私学から発信～教育が未来を拓く」「21世紀（あす）を担う子どもたちのために」をテーマとして全国から代表者が集まり大会が開催されました。総会では平成29年度事業報告および決算報告、平成30年度役員を選任、事業計画案および収支予算案が審議され全会一致で承認されました。総会後には日本私立中学高等学校連合会会長の吉田晋先生の講演「高大接続改革に伴う新たな英語教育について」並びに鳥取県の高校生による手話を交えたパフォーマンス及び交流

会が行われました。

2日目は、すなば珈琲代表の村上無費価先生を講師に迎え『ピンチを『チャンス』に『大ピンチキャンペーン』の舞台裏』と題された講演会の後、鳥取砂丘にて臨地研修が行われ、全国から参加された代表者の方々と共に充実した研修会となりました。

- (3) 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会代表者会及び研修会群馬大会（8月29日 会場：ホテルメトロポリタン高崎 本県出席者11名）

代表者会では各県の保護者会活動報告において、活発な情報交換が行われました。また、研修会では、第96回全国高校サッカー選手権大会の優勝校である前橋育英高校の校長先生でサッカー部監督もなされている山田耕介先生より「開け未来の扉を」と題した講演をいただきました。その後の懇親会は各県の参加者と親交を深める良い機会となり、有意義な時間を過ごすことができました。



## 私学助成に関する請願・陳情

県私保連は私学協会と共に私学助成に関する請願・陳情を行いました。

- (1) 10月29日(月) 県議会・自民党県連への請願・陳情
- (2) 11月15日(木) 県知事・県総務部長への陳情
- (3) 11月20日(火) 私学振興全国大会（東京メルパルクホール）茨城県から、県私学協会鈴木康之会長、県私保連前田寿紀会長を始め役員及び役員校の保護者が参加しました。大会では、私学助成への保護者の願いと公教育における公私間の様々な格差是正を目指す決議が行われました。閉会後は大会決議をもって県選出国會議員への陳情を行いました。



### 要望事項

- 1 経常費補助金について
- 2 高等学校等就学支援金の改善充実と授業料減免事業の拡充について
- 3 教職員研修にかかる補助金について

### 請願審査結果

県私保連が私学協会と共に県議会議長に提出した「平成31年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願」が採択された旨の通知を平成30年11月14日付で同議長よりいただきました。

# 県私保連研修会

(11月14日 会場：ホテルレイクビュー水戸 参加者数114名)



茨城県内の私立中学校・高等学校の保護者・教職員が参加して県私保連研修会が開催されました。茨城県保健福祉部長の木庭愛先生に「海外での子育てとワークライフバランス」という演題で講演をいただきました。先生から厚生労働省健康局での勤務経験、ロンドン大学留学、海外での出産や子育て、WHO勤務などの幅広いご経験を通して海外の教育事情や子育てについてお話を伺い、有意義な研修となりました。

## 善行生徒表彰

### ● 個人18名

・明秀学園日立高等学校	大山 晟那 (高校2年)	【社会福祉活動】
・明秀学園日立高等学校	菊池 伶桜 (高校2年)	【社会福祉活動】
・明秀学園日立高等学校	菅原 勇希 (高校2年)	【社会福祉活動】
・明秀学園日立高等学校	小久保良亮 (高校2年)	【社会福祉活動】
・明秀学園日立高等学校	坂本 怜也 (高校2年)	【社会福祉活動】
・水戸葵陵高等学校	笹沼 蓮 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・水戸葵陵高等学校	吉田 頼 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・つくば国際大学高等学校	加村 和也 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・つくば国際大学高等学校	黒田 輝明 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・つくば国際大学高等学校	今野 翔斗 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・つくば国際大学高等学校	山口 竜民 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・つくば国際大学高等学校	米崎 響 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・つくば国際大学高等学校	山中 和樹 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・つくば国際大学高等学校	飯塚 誉 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・つくば国際大学高等学校	本多 瑛次 (高校2年)	【緊急時貢献活動】
・江戸川学園取手高等学校	岡安 海音 (高校1年)	【社会福祉活動】
・江戸川学園取手高等学校	佐竹 芽依 (高校2年)	【地域文化の向上活動】
・江戸川学園取手高等学校	古賀 結夢 (高校2年)	【地域文化の向上活動】

### ● 団体3グループ

・茨城キリスト教学園高等学校サッカー一部30名	【環境整備活動】
・水戸葵陵高等学校将棋部16名	【社会福祉活動】
・江戸川学園取手中・高等学校生徒会	【社会福祉活動】



# 私学助成について

茨城県内の私立学校に通う生徒を持つ、私たち保護者の教育費負担軽減を目的としている主な私学助成のご紹介

## 私立高等学校等経常費補助金

私学助成の主なものが「経常費補助金」です。経常費補助金は、私立学校の経営の健全化、教育条件の維持向上及び就学上の保護者負担の軽減を目的として県から私立学校に補助されています。

令和元年度は高校生1人当たり359,816円（中等教育学校後期課程同額）・中学生1人当たり328,775円（中等教育学校前期課程同額）の予算を措置しました。

なお、補助金の配分は、学校の規模（生徒数、教職員）等により算定した金額を交付しています。

（生徒1人当たりの補助金予算単価の推移）

県私学振興室資料（単位：円）

学校種		平成29年度	平成30年度	令和元年度
高等学校		351,220	355,311	359,816
中等教育学校	後期			
		前期	320,800	324,345
中学校				
通信制高等学校（狭域通信制）		69,504	70,394	78,140

注）通信制高等学校への補助金額は、狭域通信制の高等学校への県補助金額です。広域通信制の場合は国からの直接補助になります。

## 私立高等学校等就学支援金

県私学振興室資料（単位：円）

家庭の経済状況にかかわらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、教育費負担の軽減を図ることを目的に授業料の一定額が「高等学校等就学支援金」として国から支給されています。

○高等学校（全日制課程）の生徒の場合

- ・高等学校等就学支援金は、年収910万円未満世帯に、月額9,900円（年額118,800円・県立の授業料相当分）支給されます。
- ・保護者の年収に応じて一定額が加算（1.5～2.5倍）されます。

保護者の年収の区分	支給額（年額）	加算区分
270万円未満	297,000	2.5倍
270～350万円未満	237,600	2倍
350～590万円未満	178,200	1.5倍
590～910万円未満	118,800	一律
910万円以上	—	—

※年収は、保護者の内どちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人の4人世帯の目安です。

## 私立高等学校等授業料減免事業

経済的理由により授業料等の納入が困難な私立高等学校に通う生徒の修学機会の確保を図るため、高等学校等就学支援金に上乗せして授業料減免措置を実施している学校法人に対して県から補助金が交付されています。

平成29年度から、新たに私立高等学校の入学金減免制度が創設され、さらに平成30年度からは、授業料実質無償化の範囲が、年収350万円程度未満から、年収400万円程度未満の世帯に拡大されました。

また、私立小中学校に通う児童生徒に対する授業料減免措置についても、国の「私立中学校等就学支援実証事業」を踏まえ、平成29年度から一部拡充して実施しています。

（私立高等学校・全日制課程の場合）

県私学振興室資料

保護者の年収の区分	県の補助額	
	授業料	入学金
400万円～590万円未満	保護者の年収による就学支援金支給額と年額180,000円との差額（1割学校負担）を補助	県平均入学金192,000円の1/4を補助
350万円～400万円未満		
350万円未満	保護者の年収による就学支援金支給額と県平均授業料（年額320,000円）との差額（1割学校負担）を補助	県平均入学金192,000円の1/2を補助

(私立中学校・小学校生徒の場合) (予定)

保護者の 年収の区分	補助対象	県の補助額
400万円未満	授業料	(小学校) 100,000円 (国事業分 <sup>*</sup> )
		(中学校) 180,000円から国事業分 <sup>*</sup> を控除した額 (1割学校負担) を補助

※国事業分：私立中学校等修学支援実証事業による支援

## 私立高等学校等奨学給付金

すべての生徒が安心して教育を受けられるよう、低所得世帯（市町村民税所得割額が非課税の世帯）の生徒に対して奨学のための給付金（授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費等）が県から支給されています。

注）保護者等が茨城県内に在住していることが支給の要件となります。

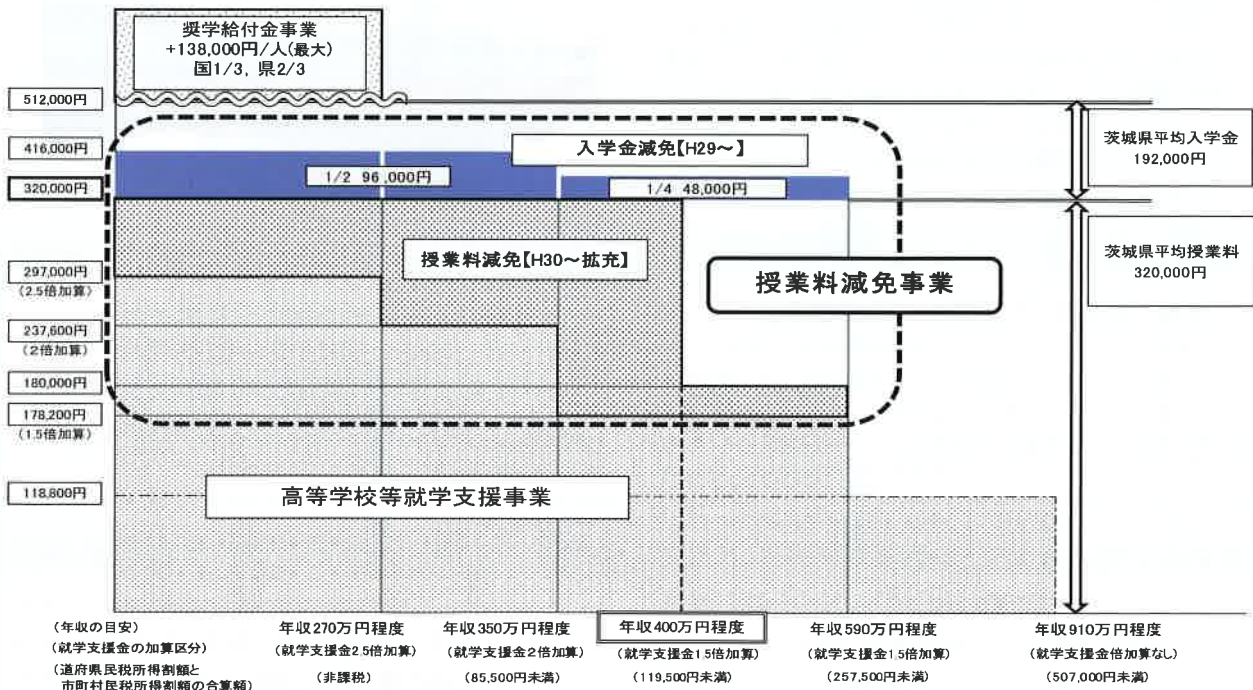
県私学振興室資料（単位：円）

区 分	奨学給付金支給額（年額） ※（ ）は通信制
生活保護受給世帯	52,600 (52,600)
第1子の高校生等がいる世帯	98,500 (38,100)
23歳未満の被扶養者がいる世帯で第2子以降の高校生等がいる世帯	138,000 (38,100)

### 参考

## 私立高等学校等就学支援金・授業料減免事業のイメージ図 (高等学校全日制の場合)

保護者が年収400万円未満世帯の場合、就学支援金及び授業料減免により、県平均授業料（年額320,000円）まで実質無償化されます。



- (注) 1 奨学給付金は授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費を支援する事業  
 2 就学支援金及び授業料減免事業は授業料の負担軽減する事業  
 3 授業料減免事業には学校負担（1割）を含む  
 4 年収は、保護者のどちらか一方が働き、高校生1人、中学生1人の4人世帯の目安

## 会員校紹介

### つくば秀英高等学校

本校は2019年、創立25周年を迎えます。つくばエクスプレスの万博記念公園駅と研究学園駅の間という、これからますます発展する地域に位置しています。自主・博愛・創造を建学の精神とし、生徒一人ひとりが個々の資質を最大限に発揮できるようコース別カリキュラムを取り入れています。少数精鋭のクラス編成で充実した学習環境を整備し、難関大学現役合格を目指す特進Sコース、基礎学力はもとより多様化する大学入試にも柔軟に対応できる学力を身につける進学Tコースの2コースを設置し、どちらも充実した進路実績を残しています。また、部活動では全国大会を目指す特技選抜部をはじめ、計29団体が文武両道を目指し活発に活動しています。柔道部・陸上競技部・バスケットボール部は全国大会に出場し好成績を収めています。そして、硬式野球部・バスケットボール部・ラグビー部からはプロ選手・トップ

リーグ選手を輩出しています。

保護者の方々とは、4つの支部活動とともに交流を深めながら、研修委員会・環境整備委員会・広報委員会などの活動に参加していただき、学校全体の雰囲気をよくするために協力していただいております。

このようにつくば秀英高等学校は国際的研究学園都市つくばにふさわしい、自ら考え自ら学ぶ、豊かな心と積極的な行動力を有する人材を地域社会と手を携えて育てていきます。



### 清真学園高等学校・中学校

本校は昭和53年に開校し、昨年で創立40周年を迎えました。鹿島開発の総決算として設立された本校は、建学の精神である『波荒き鹿島砂丘に人間性の勝利をめざし、常に心清く、豊かな知性をもって真理を追求する』の理念のもと、日々の教育活動を実践しています。

平成19年度からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定され、今年で13年目になります。全国的にも稀な文系・理系両方の20以上のゼミ活動を通し、全員の生徒が内外で様々な研究発表を行っています。

また、オーストラリアPLC（Pacific Lutheran College）との姉妹校交流も15年目に入り、多くの生徒を交換留学生として派遣し交流を深めています。さらに、4年前よりタイにあるピサヌローク校（PCCPL）とも提携校となり交換留学生の派遣を行っています。

部活動では平成28年度に弓道部男子がインターハイ、全国選抜大会で優勝しました。全国大会ベスト8に2度

進出しているラグビー部や全国大会の常連の少林寺拳法部、オーケストラ活動を行っている音楽部など多彩な部活動が行われています。

P T A 活動では、6つの支部に分かれた地区P T A 活動が行われています。また文化広報委員会は年2回のP T A 会誌の作成や文化祭でのバザーの運営、生徒指導委員会は年2回の通学指導を行っています。毎年、6月にはP T A 役員と教員の懇親会もあり、アットホームな雰囲気の中、様々なP T A 行事が行われています。



### 会員 令和元年5月現在 25保護者会

明秀学園日立高等学校・茨城キリスト教学園高等学校・茨城キリスト教学園中学校・大成女子高等学校・常磐大学高等学校・茨城高等学校中学校・水戸女子高等学校・水戸啓明高等学校・水城高等学校・水戸葵陵高等学校・水戸英宏中学校・清真学園高等学校中学校・鹿島学園高等学校・岩瀬日本大学高等学校・つくば国際大学高等学校・霞ヶ浦高等学校・土浦日本大学高等学校・土浦日本大学中等教育学校・東洋大学附属牛久中学校高等学校・愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校・江戸川学園取手中・高等学校・常総学院中学校高等学校・聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校・茗溪学園中学校高等学校・つくば秀英高等学校

### 令和元年度の活動予定

6月11日(火) 総会及び教育懇談会

6月21日(金) 関東地区私学保連理事会(栃木県)

7月18日(木)~19日(金) 日私学保連総会・研修会(福岡県)

8月23日(金) 関東地区私学保連代表者会及び研修会(栃木県)

11月13日(水) 私学振興全国大会(東京・メルパルクホール)

11月14日(木) 研修会

11月20日(水) 請願・陳情打ち合わせ会議

### 編集後記

「私学いばらき」第9号をお届けいたします。令和の新時代を迎えたものの、私学を取り巻く状況は厳しさを増しております。しかし、私学助成に関する請願・陳情の活動が実を結びつつあるようです。これも、ひとえに関係者各位、会員の皆様のご尽力のたまものと感謝しております。